

# 心身障害学級 国語科学習指導案

平成16年2月3日(火)

第5校時(13:45~14:30)

調布市立滝坂小学校 わかくさ学級2組

児童数 5名

授業者 首藤 浩子

介助者 佐々木 桂子

1. 単元名 「物語を楽しむ」

2. 教材名 「おおきなかぶ」

ロシア民話 A.トルストイ再話 内田莉沙子訳 (福音館書店)

3. 単元のめあて

- (1) やさしい読み物の音読を通して、物語を楽しむ。
- (2) 物語の楽しさを、友達と一緒に言葉や動作で表現する。

4. 単元設定の理由及び教材について

本を読んだり、話を聞いたりすることから、いろいろな知識や情報を得ることができるが、抽象的な思考が苦手な児童にとっては、「やさしい読み物に興味を持ち、読むこと」、「場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと」、「語や文としてまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読む」という具体的な活動を通じた学習を積み重ねることが生きる力となっていく。物語を読み、言葉や動作で表現することは、物語をただイメージするだけにとどまらず、実際に動作化することによって、より言葉と文を体感することができる。自己表現が乏しいあるいは苦手な児童にとって、自分を表現する活動をし、さらに認められることにより、内面が豊かになっていくのではないかと考えた。

(児童の実態と単元設定の理由)

クラスの中には、友達に関心はあるが、どのように友達に接していいか分からなかったり、ことばでのコミュニケーションが苦手な児童が多い。ことばで表現できない部分も大切にして、自分の興味や関心のあることで他者とコミュニケーションをはかり、自分自身に自信をもって行動ができるようになって欲しい。このような実態を踏まえ、物語の登場人物の気持ちを考えて、友達と一緒に言葉や動作で表現することの楽しさを経験することをねらいに、本単元を設定した。

(教材について)

本教材「おおきなかぶ」は、次々と登場人物が加わってかぶを抜くという、物語の内容が簡潔で、イメージし易い作品である。ことばの繰り返し表現が多く、「うんとこしょ、どっこいしょ。」など声に出して読むことで、ことばのリズムや繰り返しの楽しさ、動作による表現活動で、登場人物と同化しながら物語を楽しめる作品であると考えた。

5. 単元、本時の個別目標

	単元の個別目標	本時の個別目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムをとらえ、楽しく音読する。</li> <li>・いろいろな役を経験する。</li> <li>・役に合った表現活動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で、ゆっくりと文章を読む。</li> <li>・大きな声で、はっきりと台詞を言う。</li> <li>・進んで表現活動をする。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムをとらえ、楽しく音読する。</li> <li>・いろいろな役を経験する。</li> <li>・自分らしい表現ができる。</li> <li>・視写を通して物語の内容を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読む。</li> <li>・大きな声で、台詞を言う。</li> <li>・友達と一緒に、表現活動をする。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムをとらえ、楽しく音読する。</li> <li>・いろいろな役を経験する。</li> <li>・役に合った表現活動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で、文章を読む。</li> <li>・大きな声で台詞を言う。</li> <li>・進んで表現活動をする。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムをとらえ、楽しく音読する。</li> <li>・いろいろな役を経験する。</li> <li>・自分らしい表現ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で、はっきりと文章を読む。</li> <li>・大きな声で台詞を言う。</li> <li>・友達と楽しく、表現活動に参加する。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムをとらえ、楽しく音読する。</li> <li>・いろいろな役を経験する。</li> <li>・自分らしい表現ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を見て、ことばを発音しようとする。</li> <li>・楽しんで台詞をいう。</li> <li>・自分らしい表現をしようとする。</li> <li>・友達と楽しく、表現活動に参加する。</li> </ul>

## 6. 指導上の工夫

### (1) 児童の興味・関心のある物語の選択

- ・内容がわかり易く、繰り返しのことばが多い物語を選ぶ。
- ・季節に合った内容のものを選ぶ。
- ・自分用の本を用意する。

### (2) 友達同士の表現活動を大切にす。

- ・いろいろな役を交代しながら、自発的に表現する。

### (3) 表現活動を豊かにする。

- ・絵本、パネルシアターなどの教材を使いながら物語の内容を理解することを進め、実際に物語を動作で表現することの楽しさを味わう。
- ・動物のお面や大型バルーン(直径1.5m)をかぶに見立てるなど、小道具を使って、劇や役の雰囲気作りを高める。

### (4) 自己表現の振り返り

- ・ことばや動作で、自分の思いや考えを表現しようとしたことを大切に認める。
- ・毎時間の授業を振り返り、教師や友達から、自分自身を認められる経験を重ねる。

### (5) 生活全体で表現活動を豊にする

- ・音楽、図工、生活单元などの授業と関連した授業を計画し、学習活動全体を通して表現しようとする気持ちを育てる。
- ・生活单元の作業学習で、実際に外で畑をおこし、種を蒔く活動を取り入れる。
- ・生活单元学習の調理で、かぶを使った料理をし、試食する。
- ・図工の時間に、動物のお面を作る活動を取り入れる。
- ・音楽の時間に「おおきなかぶ」のうたを歌う。
- ・児童の日常の様子を観察し、教師自身が意識して表現活動を行う。

## 7. 指導計画

1時...絵本「おおきなかぶ」の教師の範読を聞き、物語の内容を知る。登場人物の動作化。

2時...場面を分担しながら全文を読む。(分担は毎時間、順番を変えて色々な場面を読む。)

おじいさんがかぶを植える様子やかぶがぬけない様子を動作化する。

3時...場面を分担しながら全文を読む。おばあさんとまごを呼んで来る様子を動作化する。

パネルシアターを使って、物語の内容理解を深め、登場人物の動作化をする。

4時...場面を分担しながら全文を読む。いぬとねこを呼んで来る様子を動作化する。

5時...場面を分担しながら全文を読む。

ねずみを呼んで来て、とうとう、かぶが抜けた様子を動作化する。

6時...場面を分担しながら全文を読む。自分で表現したい役を話し、動作化する。

7時...場面を分担しながら全文を読む。劇あそびりハーサル。

8時...場面を分担しながら全文を読む。劇あそび発表会。(本時)

8. 本時の学習

(1) めあて

・物語を読み、楽しんで台詞や動作を表現する。

(2) 展開

	学習活動	教師の支援 と評価	個別の支援				
			A	B	C	D	E
導入	<p>始めの挨拶をする。</p> <p>1. 本時の学習内容を確認する。 ・「おおきなかぶ」の本を読む。 ・劇あそびをする。</p>	<p>授業の内容を板書する。 「本をよむ」「げき」 本時の学習内容を確認し、見通しをもって学習することができる。</p>	<p>学習内容を板書 1. 本をよむ 2. げき</p>	<p>学習内容を板書 1. 本をよむ 2. げき</p>	<p>学習内容を板書 1. 本をよむ 2. げき</p>	<p>学習内容を板書 1. 本をよむ 2. げき</p>	<p>学習内容を板書 1. 本をよむ 2. げき</p>
展開	<p>2. 「おおきなかぶ」を音読する。 ・一人、1ページずつ読む。</p> <p>3. 劇あそび ・役を決める。 ・自分の台詞を言う。 ・声を揃えて台詞を言ったり、動作する。</p>	<p>絵本を用意し、読むページを示す。 「ゆっくり」「おおきなこえで」を板書する。 読んでいるページに注目することができたか。(B、D) 大きな声で読めたか。(A、C、D、E)</p> <p>個々の児童のやりたい役を全員に確認する。 自分の好きな役を選択できたか。 「せりふ」を板書し、劇中に自分で考えて台詞を言うことを知らせる。 自分で考えた台詞や表現ができたか。 掛け声をかけ、全員で台詞を言うタイミングをはかる。 動作化しながら台詞が言えたか。</p>	<p>・ゆっくり読もうと声を掛ける。  ・自分のやりたい役を聞く。  ・自分で考えた台詞を言うように声を掛ける。  ・自分の役と掛け声に注目させる。</p>	<p>・読んでいるページの絵を示す。  ・板書「ゆっくり」「おおきなこえで」に注目させる。  ・自分のやりたい役を聞く。  ・動作をしながら、考えた台詞を言うように声掛けする。  ・自分の役と掛け声に注目させる。</p>	<p>・大きな声で読もうと声を掛ける。  ・自分のやりたい役を聞く。  ・自分が考えた台詞を言うように声を掛ける。  ・自分の役と掛け声に注目させる。</p>	<p>・読んでいるページの絵を示す。  ・大きな声で読もうと声を掛ける。 ・板書「ゆっくり」「おおきなこえで」に注目させる。  ・自分のやりたい役を聞く。  ・動作をしながら考えた台詞を言うように声掛けする。  ・自分の役と掛け声に注目させる。</p>	<p>・大きな声で読もうと声を掛ける。  ・自分のやりたい役を聞く。  ・自分で考えた表現で登場する。  ・自分の役と掛け声に注目させる。</p>
まとめ	<p>4. 本時のまとめ ・次時の予告  終わりの挨拶をする。</p>	<p>劇遊びの感想を聞く。 友達と楽しく劇あそびができたか。</p>	<p>・どんなところが楽しかったか質問し、気持ちをことばで表現させる。</p>	<p>・どんなところが楽しかったか質問し、気持ちをことばで表現させる。</p>	<p>・どんなところが楽しかったか質問し、気持ちをことばで表現させる。</p>	<p>・劇が楽しかったか、yes、noで表現する。 ・どんなところが楽しかったか選択肢の中から選ぶ。</p>	<p>・どんなところが楽しかったか質問し、気持ちをことばや動作で表現させる。</p>

## 8. 本時の学習

### (3) 評価(個別)

#### A

- ・大きな声で、ゆっくりと文章を読むことができたか。
- ・大きな声で、はっきりと台詞を言うことができたか。
- ・進んで、表現活動をしようとしていたか。

#### B

- ・文章を読むことができたか。
- ・大きな声で、台詞を言うことができたか。
- ・友達と一緒に、表現活動をしていたか。

#### C

- ・大きな声で、文章を読むことができたか。
- ・大きな声で、台詞を言うことができたか。
- ・進んで、表現活動をしようとしていたか。

#### D

- ・大きな声で、ゆっくりと文章を読むことができたか。
- ・大きな声で、台詞を言うことができたか。
- ・友達と楽しく、表現活動に参加していたか。

#### E

- ・文字を見て、ことばを発音しようとしていたか。
- ・楽しんで、台詞をいえたか。
- ・自分らしい表現をしようとしていたか。
- ・友達と楽しく、表現活動に参加していたか。